

新たな価値の創造を担う 日本工業大学の 高い研究力!

2022年4月 **Topics!**
データサイエンス学科が
スタートしました

NIT Open Campus

日本工大には、ここでしか得ることができない
さまざまな魅力があります。
オープンキャンパスでは是非その魅力を体感してください

7.16[±] 7.30[±]・31^日

※詳細は本学Webサイトをご覧ください

基幹工学部

・機械工学科
・電気電子通信工学科
・応用化学科

先進工学部

・ロボティクス学科
・情報メディア工学科
・データサイエンス学科

建築学部

・建築学科
建築コース
生活環境デザインコース

日本工業大学

埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 <https://www.nit.ac.jp>

大宮から
29分

新白岡駅まで
JR 上野東京ライン・湘南新宿ライン・宇都宮線で
17分 + スクールバス 12分

北千住から
44分

東武動物公園駅まで
東武スカイツリーライン (急行) で
39分 + スクールバス 5分

※列車の運行状況により異なる場合があります。

伴雅人 (基幹工学部 応用化学科 教授)

これまで培ってきたナノスケールの材料実験技術を通じて見つめるのは、まだ見ぬ未来。安心して住める地球の環境を、この手で未来へとつなげたいのです。

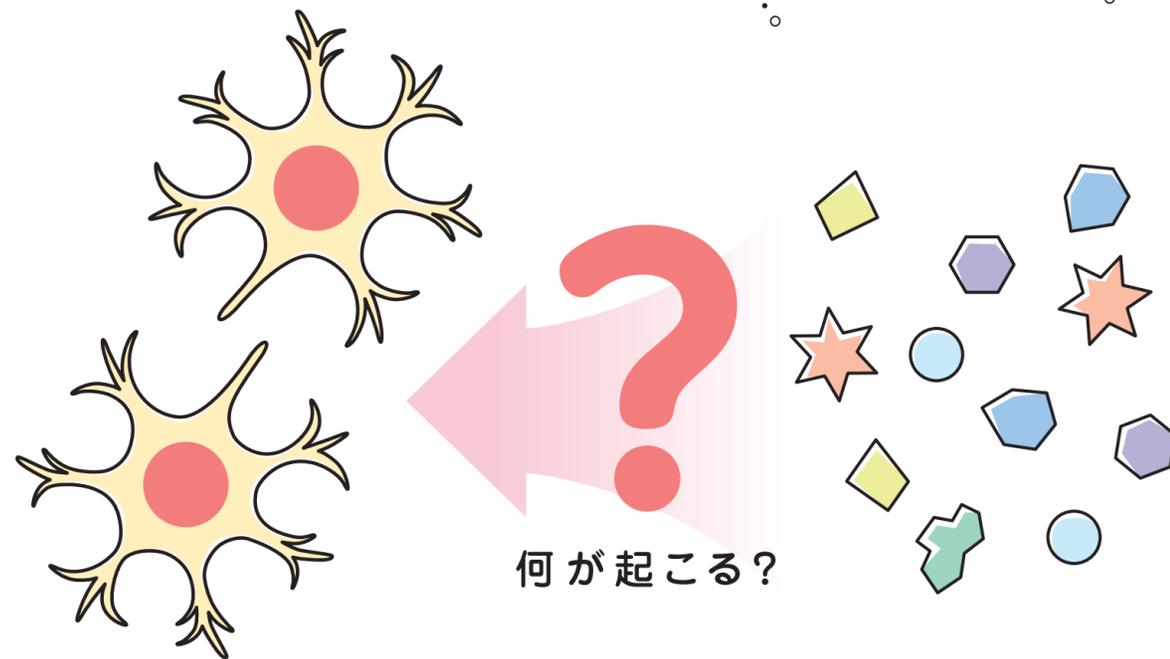
そこで私は、マイクロ・ナノプラスチックが人体へ及ぼす影響について研究を進めています。特に、世界的に研究が進んでいない神経細胞への影響を調べているところです。

極小のプラスチック粒は、水中だけでなく空中にも舞っていると言われます。そして生物の体内に入り込めば、小ささゆえに体外へ排出されず、取り込まれてしまいます。海洋生物などでは研究が進むものの、人体への影響についての研究は進んでいません。

プラスチックは、その利便さから私たちの生活のあちこちで使われています。ちやんと廃棄されるものもありますが、中には風に飛ばされ、川を流れ、紫外線でもろくなり…。砕かれ続け、やがてはミリ、マイクロ、そしてナノメートルサイズにまで小さくなります。

今、地球の環境は大小さまざまな課題を抱えています。中でも小さな粒の引き起こす大問題が「マイクロ・ナノプラスチック」問題です。

極小の粒が引き起こす地球規模の課題！ マイクロ・ナノプラスチックが 人体にもたらす影響とは



Webで
動画を公開中!
NIT トレインラボ
で検索 🔍

基幹工学部 応用化学科 マイクロ・ナノデバイス研究室

TRAIN LABO NO. 34